

2024年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年11月14日

上場会社名 東和ハイシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4172 URL <https://www.towa-hi-sys.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長執行役員 (氏名) 飯塚 正也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部部长 (氏名) 児玉 祐輔 (TEL) 086-243-3003
 定時株主総会開催予定日 2024年12月27日 配当支払開始予定日 2024年12月13日
 有価証券報告書提出予定日 2024年12月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期の業績(2023年10月1日~2024年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	2,114	3.5	422	82.8	587	52.3	401	55.4
2023年9月期	2,041	△7.8	230	△44.6	385	△18.8	258	△18.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	売上高 営業利益率	売上高 経常利益率	売上高 当期純利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	180.35	—	20.0	27.8	19.0
2023年9月期	116.03	—	11.3	18.9	12.6

(参考) 持分法投資損益 2024年9月期 -百万円 2023年9月期 -百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	4,375	3,934	89.9	1,765.81
2023年9月期	4,061	3,733	91.9	1,675.89

(参考) 自己資本 2024年9月期 3,934百万円 2023年9月期 3,733百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	504	186	△178	1,605
2023年9月期	61	△360	△95	1,092

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2023年9月期	—	0.00	—	50.00	50.00	111	43.1	3.0
2024年9月期	—	30.00	—	58.00	88.00	196	48.8	5.1
2025年9月期(予想)	—	44.00	—	44.00	88.00		47.8	

3. 2025年9月期の業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,144	4.0	285	9.2	390	0.0	267	0.5	119.84
通期	2,220	5.0	486	15.1	600	2.1	410	2.0	184.02

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期	2,228,000 株	2023年9月期	2,228,000 株
② 期末自己株式数	2024年9月期	76 株	2023年9月期	49 株
③ 期中平均株式数	2024年9月期	2,227,948 株	2023年9月期	2,227,968 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 財務諸表及び主な注記	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(持分法損益等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が進む中、緩やかな回復基調は続いているものの、原材料費上昇による物価高騰や人手不足による人件費高騰、さらなる国際的な情勢不安等、引き続き、先行き不透明な状況が続いています。

そのような中、歯科業界では、令和5年6月に厚生労働省より発表された「医療DXの推進に関する工程表」を踏まえ、過去に類を見ない大規模な「令和6年度 診療報酬改定」が行われ、加速度的に医療DXの流れが進んでいます。そして、令和6年5月23日に開催された世界経済フォーラムでは「口腔保健への投資に関する世界的なコミットメント」と題する白書が発表され、歯周病と全身疾患との関係性などを例に口腔衛生の重要性を強調する内容となっており、今後は、歯科医院の経営を治療主体から歯周病治療・予防を主体とした長期的な口腔機能管理型へと進化・転換・変革していくと共に、生産性向上や業務効率の改善、大幅な時間短縮を図ることで新たな医院収入の柱の創設に繋げていくことが不可欠です。しかしながら、歯科衛生士をはじめとした医療従事者の不足や歯周病専門医の不足といった社会問題への対応や医療DX推進へ向けた助成金・補助金に係る申請・期限等の情報提供・説明実施が全くできていないというのが現状です。

そこで、当社は全国の先生方へ「令和6年度 診療報酬改定」説明会をアンコール編も含めて全7回実施し、歯科医院を医療DXの観点から助成金・補助金を活用して支援するソフトやマイナ保険証の利用状況等を見える化したソフトを次々に開発・販売すると共に、下記①②③のAI・音声シリーズを拡販することで、激変する歯科業界のリーディングカンパニーとして圧倒的なスピードと開発力で大きな旋風を巻き起こして参りました。

① AI・音声シリーズ第1弾 「AI・音声電子カルテ統合システム (Hi Dental Spirit AI-Voice) 」

先生が診療しながら、手袋を外さず、音声でカルテ作成・検査結果が記録でき、治療説明の会話録音とテキスト化による自費での診療トラブルを防止できます。

② AI・音声シリーズ第2弾 「AI・音声歯周病検査 (Perio chart Pro. Voice) 」

歯周病治療・予防に係る検査と記録を歯科医師・衛生士1人で完結するだけでなく、短縮された時間を利用してお客様とのコミュニケーションやカウンセリングの時間に充てることで、患者様の満足度や歯周病予防への意識を高め、定期メンテナンス促進へ繋げることができます。

③ AI・音声シリーズ第3弾 「AI・音声サブカルテ (Sub Karte-Voice) 」

サブカルテのデジタル化により、歯科医院で共有する患者様のあらゆる情報を院内だけでなく訪問診療先でもAI・音声による入力と情報共有が可能となります。

このような取り組みの結果、当事業年度の売上高2,114,068千円(前期比3.5%増)、営業利益422,226千円(前期比82.8%増)、経常利益587,572千円(前期比52.3%増)、当期純利益401,809千円(前期比55.4%増)、上場来最高益更新となりました。

併せて、自己資本比率89.9%、売上高経常利益率27.8%、売上高純利益率19.0%となり、売上高経常利益率・純利益率で上場来最高の経営指標となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における資産合計は4,375,715千円となり、前事業年度末より314,080千円増加いたしました。

a. 流動資産

流動資産は1,983,887千円と前事業年度末より321,710千円減少いたしました。主な内訳は、有価証券償還に伴う現金及び預金の増加202,206千円、売掛金の減少61,485千円、有価証券の減少200,800千円と、預け金の減少266,118千円であります。

b. 固定資産

固定資産は2,391,828千円と前事業年度末より635,791千円増加いたしました。主な内訳は、ソフトウェアの減少46,064千円、投資有価証券の増加678,030千円であります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は441,619千円となり、前事業年度末より113,777千円増加いたしました。

a. 流動負債

流動負債は387,397千円と前事業年度末より108,592千円増加いたしました。主な内訳は、買掛金の減少28,024千円、未払法人税等の増加82,134千円、未払消費税等の増加39,132千円であります。

b. 固定負債

固定負債は54,222千円と前事業年度末より5,185千円増加いたしました。内訳は、退職給付引当金の増加5,185千円によります。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は3,934,096千円となり、前事業年度末より200,302千円増加いたしました。主な内訳は、利益の獲得による増加と配当金の支払による減少の結果として利益剰余金が223,573千円増加したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は1,605,117千円となり、前事業年度末より512,206千円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は504,437千円（前年同期は61,074千円の収入）となりました。これは主として法人税等の納付による121,142千円の支出等があったものの、税引前当期純利益の獲得による587,572千円の収入、減価償却費78,603千円の計上、投資有価証券売却益の計上110,817千円、売上債権の減少61,485千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって得られた資金は186,013千円（前年同期は360,864千円の支出）となりました。これは主として投資有価証券の取得による支出3,094,059千円があったものの、投資有価証券の売却による収入2,494,258千円、有価証券の償還による収入200,000千円、預け金の増減額による収入266,118千円、定期預金の増減額による収入310,000千円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって支払った資金は178,243千円（前年同期は95,879千円の支出）となりました。これは主として配当金178,190千円の支出があったことによります。

(4) 今後の見通し

歯科業界では、前述の通り、加速度的に医療DXの流れが進むと共に世界経済フォーラムの白書において、歯周病治療・予防による口腔衛生の管理こそが糖尿病・認知症・心疾患・呼吸器疾患等の改善にも繋がるということが発表されるなど、コロナ禍で影響が大きかった歯科医院にとって、今、大きなスポットが当たり、医科や介護施設、ケアマネージャーとの地域連携における役割期待が大きく高まっていると当社では考えています。しかしながら、歯科衛生士をはじめとした医療従事者の不足や歯周病専門医の不足といった社会問題への対応や医療DX推進へ向けた助成金・補助金に係る申請・期限等の情報提供や説明ができていない現状もあり、歯科業界の未来を憂えざるを得ません。

そこで、当社は、AI音声による革新的ソリューション「Revoriuture[®](レボリューチャー) 新たな世界へ!」を合言葉に歯科業界に革命を起こし歯科医療の未来を明るく照らして参る所存です。具体的には、歯科医院を医療DXの観点から助成金・補助金を活用して支援するソフトやマイナ保険証の利用状況等が見える化したソフトの販売を継続すると共に主力商品であるAI・音声シリーズ第1弾「AI・音声電子カルテ統合システム (Hi Dental Spirit AI-Voice)」、第2弾「AI・音声歯周病検査 (Perio chart Pro. Voice)」、第3弾「AI・音声サブカルテ (Sub Karte-Voice)」のさらなる拡販へと繋げ、小児から来院できなくなった患者さままで一生のかかりつけ医として、患者個々の状態に応じた口腔機能の発達・維持・回復をめざす「治療・管理・連携型」歯科診療への進化・転換・変革を支援していくことで、医院収入の拡大や医療費の抑制、その先にある国民のQOL向上「生きる幸せ」へとさらに貢献して参ります。

そしてAI音声から生成AIを活用したAI・音声シリーズ第4弾・5弾の新たな展開を通じて、中長期的目標である3,000歯科医院を超えるAI・音声シリーズを拡販することで、売上高35億円 経常利益10億円 売上高経常利益率28.5% 純利益7億円 売上高純利益率20.0%を上回る達成を目指します。是非とも、是非とも、ご期待ください。

※ Revoriuture(レボリューチャー)はRevolution(革命・変革)とBrightly(明るく・煌々と)とFuture(未来・将来)を組み合わせた当社世界観の造語です。AI・音声シリーズで「歯科に革命を起こして未来を明るく照らす!」という思いを込めています。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は現在、日本国内での業務を主としていることから、当面は国内の同業他社との比較可能性を確保するため、日本基準を適用することとしております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,402,910	1,605,117
売掛金	230,132	168,646
有価証券	200,800	—
商品	169,732	183,016
前払費用	31,752	26,336
未収入金	4,151	769
預け金	266,118	—
流動資産合計	2,305,597	1,983,887
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	322,586	305,274
構築物（純額）	2,148	1,966
車両運搬具（純額）	9,798	6,303
工具、器具及び備品（純額）	30,367	30,630
土地	349,929	349,929
有形固定資産合計	714,830	694,105
無形固定資産		
ソフトウェア	172,806	126,741
ソフトウェア仮勘定	80,069	80,600
その他	2,017	1,912
無形固定資産合計	254,893	209,254
投資その他の資産		
投資有価証券	710,600	1,388,630
敷金及び保証金	35,358	37,011
繰延税金資産	39,138	62,049
その他	1,216	777
投資その他の資産合計	786,313	1,488,468
固定資産合計	1,756,037	2,391,828
資産合計	4,061,635	4,375,715

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	52,915	24,891
未払金	130,146	119,601
未払法人税等	54,745	136,879
未払消費税等	6,867	46,000
預り金	12,999	4,441
賞与引当金	11,249	12,729
その他	9,880	42,853
流動負債合計	278,804	387,397
固定負債		
退職給付引当金	49,036	54,222
固定負債合計	49,036	54,222
負債合計	327,841	441,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	343,080	343,080
資本剰余金		
資本準備金	297,480	297,480
資本剰余金合計	297,480	297,480
利益剰余金		
利益準備金	10,000	10,000
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	13,372	12,518
別途積立金	170,900	170,900
繰越利益剰余金	2,924,390	3,148,817
利益剰余金合計	3,118,662	3,342,235
自己株式	△77	△130
株主資本合計	3,759,145	3,982,665
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△25,351	△48,569
評価・換算差額等合計	△25,351	△48,569
純資産合計	3,733,793	3,934,096
負債純資産合計	4,061,635	4,375,715

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,041,688	2,114,068
売上原価		
商品期首棚卸高	236,743	169,732
当期商品仕入高	287,025	293,168
当期製品製造原価	226,720	232,661
合計	750,489	695,562
商品期末棚卸高	169,732	183,016
売上原価合計	580,757	512,545
売上総利益	1,460,930	1,601,522
販売費及び一般管理費	1,229,999	1,179,296
営業利益	230,931	422,226
営業外収益		
受取利息	11	10
有価証券利息	24,134	19,102
受取配当金	10,000	8,800
受取手数料	790	825
投資有価証券売却益	118,533	110,817
投資事業組合運用益	—	23,147
その他	1,487	2,643
営業外収益合計	154,957	165,346
経常利益	385,888	587,572
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税引前当期純利益	385,888	587,572
法人税、住民税及び事業税	127,022	198,504
法人税等調整額	356	△12,741
法人税等合計	127,378	185,763
当期純利益	258,509	401,809

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金 合計
当期首残高	343,080	297,480	297,480
当期変動額			
剰余金の配当			
当期純利益			
圧縮積立金の取崩			
自己株式の取得			
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			
当期変動額合計	—	—	—
当期末残高	343,080	297,480	297,480

	株主資本						
	利益剰余金					自己株式	株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計		
		固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	10,000	14,226	170,900	2,760,830	2,955,957	—	3,596,517
当期変動額							
剰余金の配当				△95,804	△95,804		△95,804
当期純利益				258,509	258,509		258,509
圧縮積立金の取崩		△854		854	—		—
自己株式の取得						△77	△77
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	△854	—	163,559	162,705	△77	162,627
当期末残高	10,000	13,372	170,900	2,924,390	3,118,662	△77	3,759,145

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価 ・換算差額等 合計	
当期首残高	△6,717	△6,717	3,589,799
当期変動額			
剰余金の配当			△95,804
当期純利益			258,509
圧縮積立金の取崩			—
自己株式の取得			△77
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△18,633	△18,633	△18,633
当期変動額合計	△18,633	△18,633	143,993
当期末残高	△25,351	△25,351	3,733,793

当事業年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金 合計
当期首残高	343,080	297,480	297,480
当期変動額			
剰余金の配当			
当期純利益			
圧縮積立金の取崩			
自己株式の取得			
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			
当期変動額合計	—	—	—
当期末残高	343,080	297,480	297,480

	株主資本						
	利益剰余金					自己株式	株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計		
		固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	10,000	13,372	170,900	2,924,390	3,118,662	△77	3,759,145
当期変動額							
剰余金の配当				△178,236	△178,236		△178,236
当期純利益				401,809	401,809		401,809
圧縮積立金の取崩		△854		854	—		—
自己株式の取得						△52	△52
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	△854	—	224,427	223,573	△52	223,520
当期末残高	10,000	12,518	170,900	3,148,817	3,342,235	△130	3,982,665

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価 ・換算差額等 合計	
当期首残高	△25,351	△25,351	3,733,793
当期変動額			
剰余金の配当			△178,236
当期純利益			401,809
圧縮積立金の取崩			—
自己株式の取得			△52
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△23,217	△23,217	△23,217
当期変動額合計	△23,217	△23,217	200,302
当期末残高	△48,569	△48,569	3,934,096

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	385,888	587,572
減価償却費	68,410	78,603
固定資産除却損	0	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△118,533	△110,817
投資事業組合運用損益 (△は益)	—	△23,147
受取利息及び受取配当金	△34,146	△27,913
売上債権の増減額 (△は増加)	△86,504	61,485
棚卸資産の増減額 (△は増加)	67,011	△13,284
仕入債務の増減額 (△は減少)	13	△28,024
賞与引当金の増減額 (△は減少)	130	1,480
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,500	5,185
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△5,397	39,132
その他	△96,352	23,247
小計	182,022	593,519
利息及び配当金の受取額	36,015	30,574
法人税等の支払額	△156,962	△121,142
法人税等の還付額	—	1,486
営業活動によるキャッシュ・フロー	61,074	504,437
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,692	△11,648
投資有価証券の取得による支出	△574,056	△3,094,059
投資有価証券の売却による収入	508,853	2,494,258
有価証券の償還による収入	100,000	200,000
無形固定資産の取得による支出	△159,893	△531
預け金の増減額 (△は増加)	△221,500	266,118
定期預金の増減額 (△は増加)	—	310,000
投資事業組合からの分配による収入	—	23,147
その他の収入	2,714	379
その他の支出	△3,290	△1,653
投資活動によるキャッシュ・フロー	△360,864	186,013
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△77	△52
配当金の支払額	△95,802	△178,190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△95,879	△178,243
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△395,669	512,206
現金及び現金同等物の期首残高	1,488,580	1,092,910
現金及び現金同等物の期末残高	1,092,910	1,605,117

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、歯科医院向けシステム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しています。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	1,675円 89銭	1,765円 81銭
1株当たり当期純利益	116円 03銭	180円 35銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	258,509	401,809
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	258,509	401,809
普通株式の期中平均株式数(株)	2,227,968	2,227,948
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。